

介護現場における 介護ロボット・ICTの導入について

令和6年9月

茨城県福祉部長寿福祉課
介護基盤整備担当

介護ロボット・ICTとは？

●介護ロボット

※次のいずれかの場面で使用する、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器

- ①移乗介護 ②移動支援 ③排せつ支援 ④見守り・コミュニケーション
- ⑤入浴支援 ⑥介護業務支援

例) パワーアシストスーツ、離床感知センサーマット、排せつ予測センサー、入浴支援機器 等々…



●ICT機器

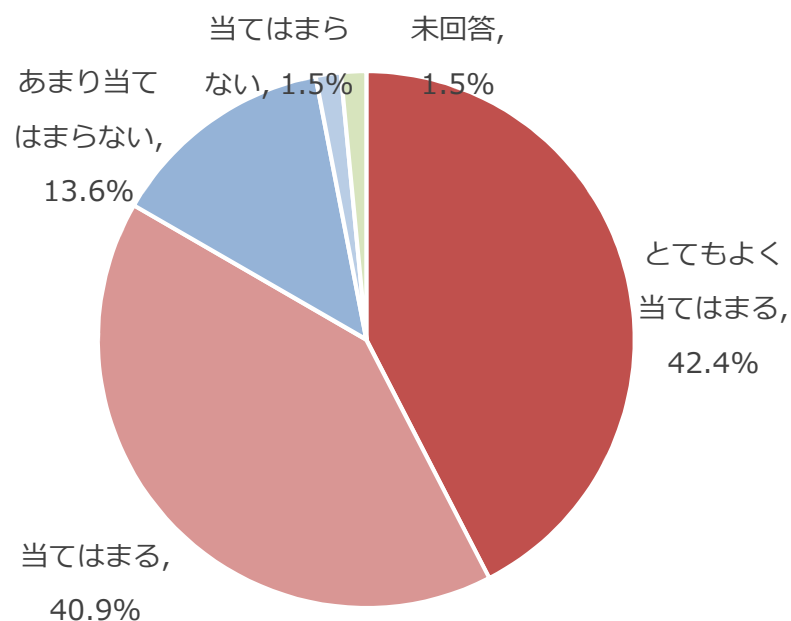
- ・記録から請求まで業務を一括で行える介護ソフト、システム
- ・記録用、情報共有用のタブレット・スマートフォン



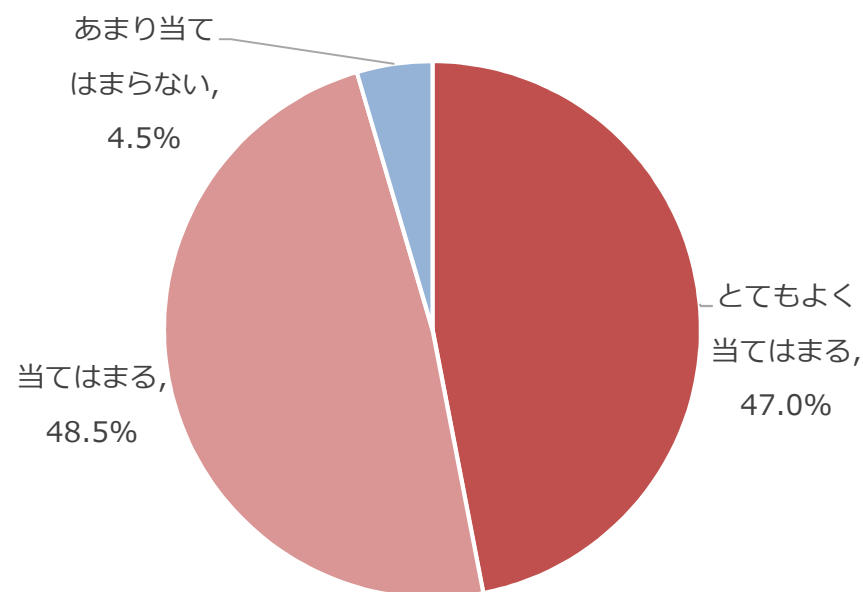
職員の身体的・精神的な負担の軽減、業務の短縮・効率化への期待

機器の活用効果①（介護ロボット）

(1)業務時間の削減、効率化が達成できた



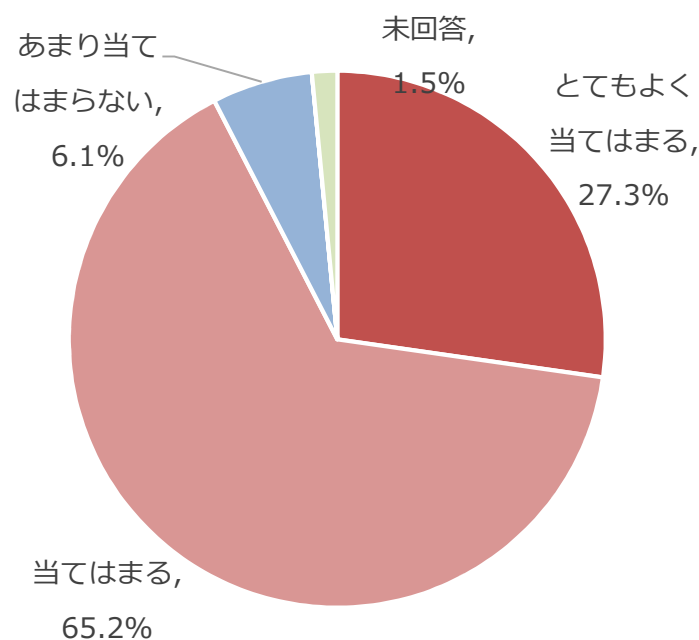
(2)職員の身体的、精神的な負担軽減につながった



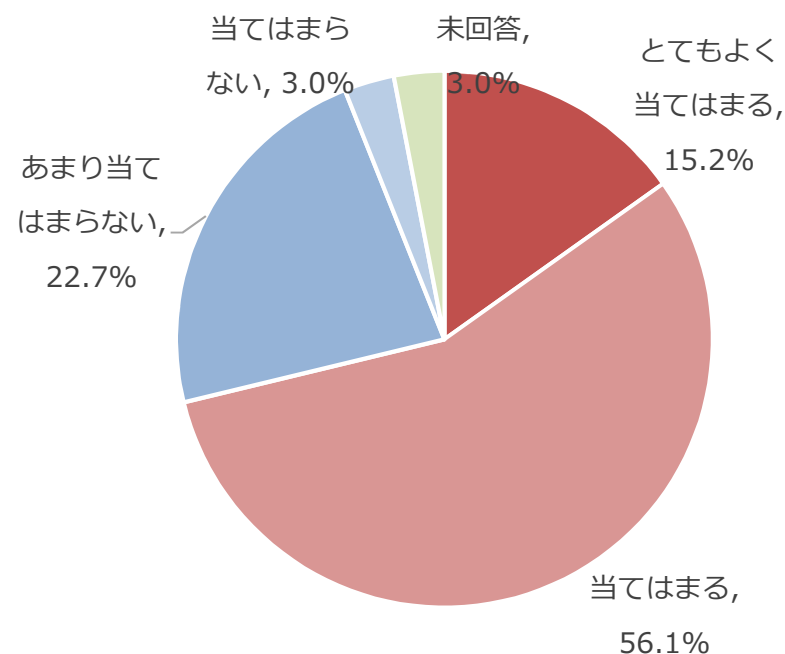
◆R5の使用実績報告書より（R1～R3に導入した66事業所の報告まとめ）

機器の活用効果②（介護ロボット）

(3)利用者のケア向上につながった



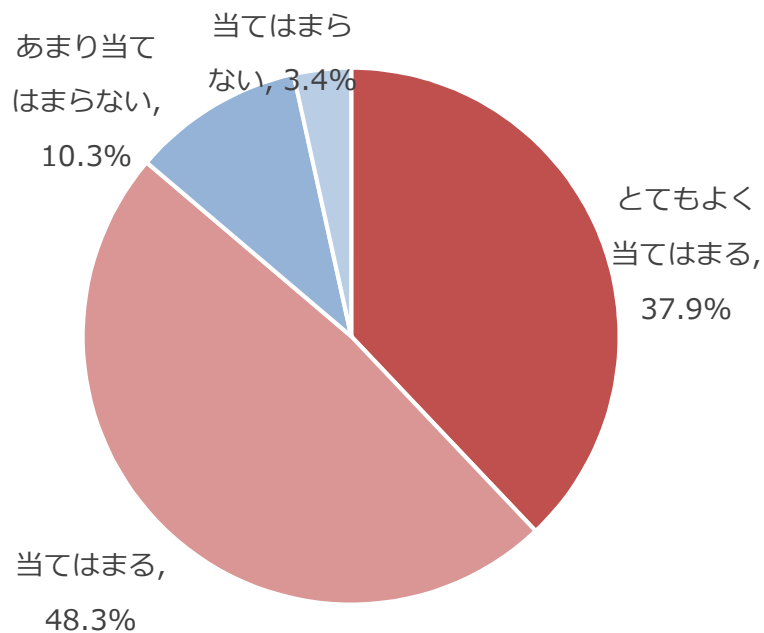
(4)職場環境が改善された



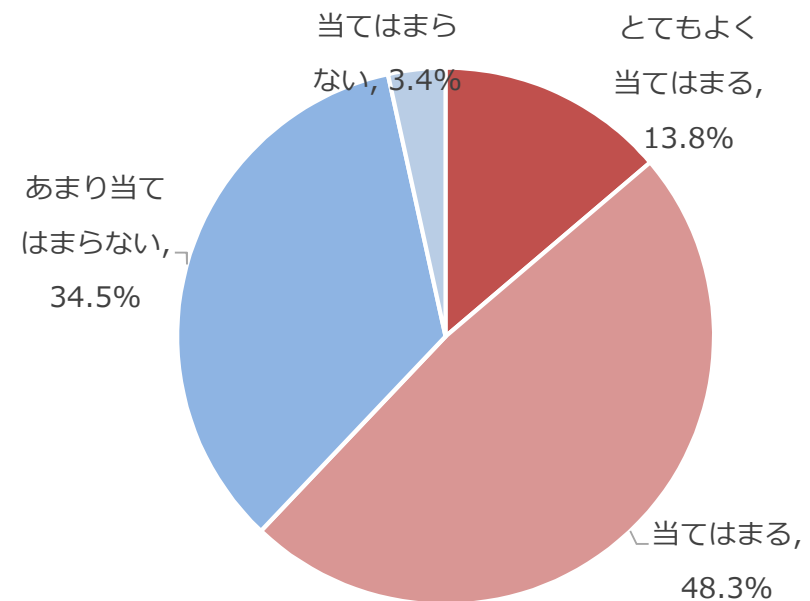
◆R5の使用実績報告書より（R1～R3に導入した66事業所の報告まとめ）

機器の活用効果③ (ICT)

介護記録等の管理や保管が
楽になった

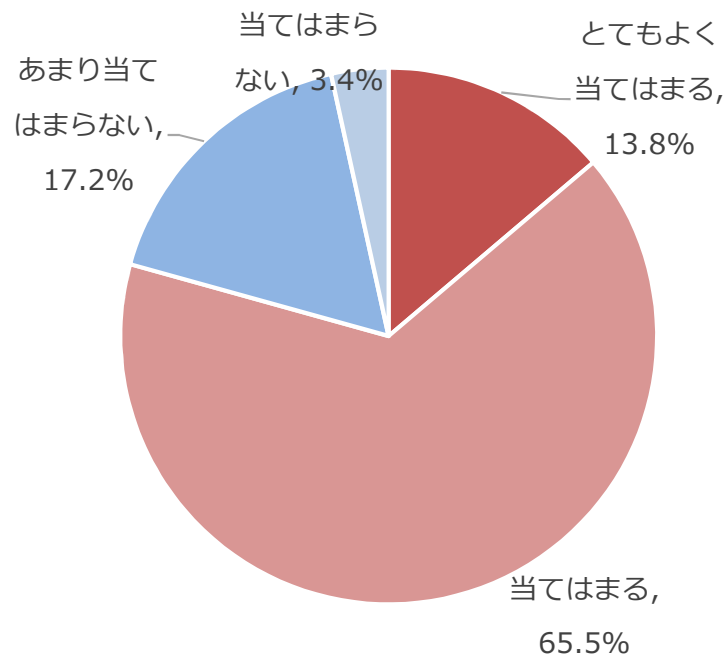


間接業務(※)の時間が減少した
(※利用者と直接接しない形で行う業務)

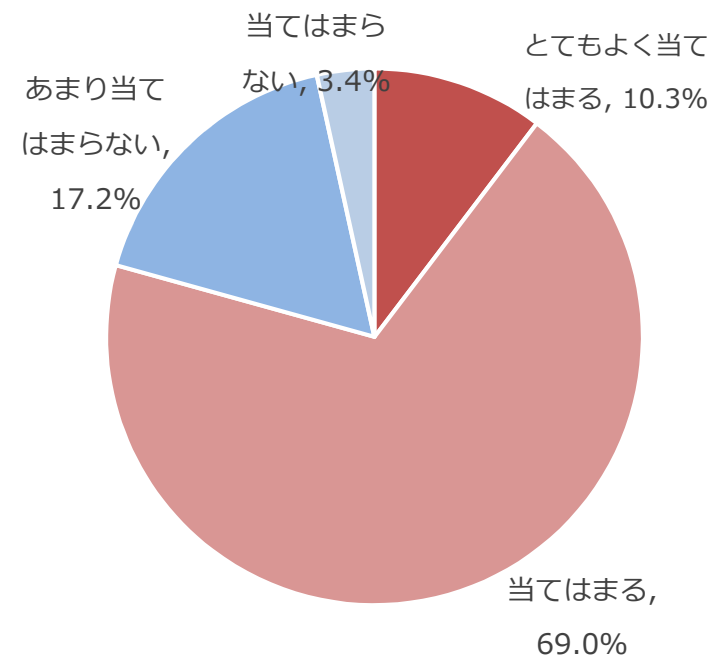


機器の活用効果④（ICT）

業務の効率化が図れた



職場環境が改善された



現場における活用事例①

●介護ロボット (取材協力：特別養護老人ホーム アクティブハートさかど、令和3年度取材)

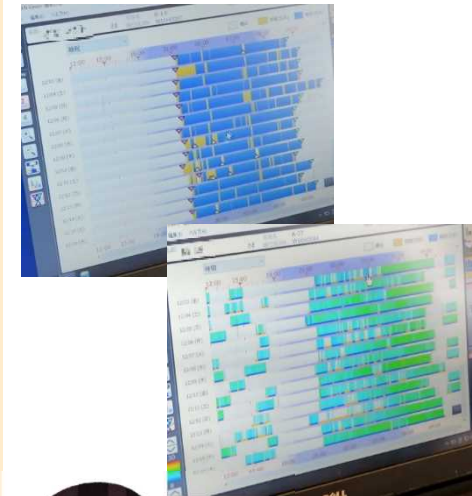
■ 導入機器 マットレスの下に敷くマット式の見守りセンサー

■ 主な機能

- 入居者の離床、睡眠状況、心拍数、呼吸数を把握可能
- 離床状況等はパソコン画面で確認
- アラームの鳴るタイミングを利用者ごとに設定可能

■ 活用状況、効果等

- 睡眠状況や呼吸状況が色分けして表示され、一目で分かりやすい
- 夜間のおむつ替えやトイレの付き添いで利用者を無理やり起こす必要が無い
- 過去のデータが残るため、医師への説明資料としても活用可能
- 個々の生活リズムに合わせたサービスが提供できるようになった
⇒ユニットケアに効果的



現場における活用事例②

●ICT機器

(取材協力：特別養護老人ホーム あかねサクラ館、令和3年度取材)

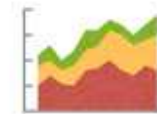
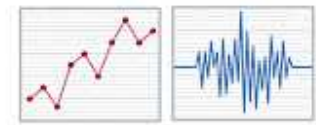
■ 導入機器 介護ソフト、タブレット

■ 主な機能

- 介護記録から請求業務まで一括で行うことが可能
- タブレット、パソコンに介護ソフトをインストールして使用
- タブレットで入力した内容が、転記不要でパソコンに連携

■ 活用状況、効果

- タブレットによる入力作業で介護記録業務が楽になった（若い職員には使いやすい。）
- 過去の記録を簡単に遡ることができる
- 直近の状況（食事や排せつ等）をグラフ化し、医師への説明資料にすることもできる
- 紙の記録と電子の記録を用途によって使い分けている
(業務中に一瞬だけ確認したい時などは、紙の方が便利。)



介護ロボット・ICTの活用について（まとめ）

●「人材確保」という視点から

- 介護ロボットもICTも職員の負担軽減策として大いに期待できる
 - ・機械に任せられる仕事は機械に
 - ・介護サービスの更なる向上（業務の効率化、ケアの向上）
 - 新規入職者の業務を補助
 - ・タブレットによる入力
 - ・見守りセンサー
 - 色の違いで利用者の状況が分かる
- ⇒ 新規職員にも分かりやすい

●効果的に導入・活用するには

- 現場の意見が重要
 - ・現場職員が本当に必要としているものは？
 - ・解決すべき課題を可視化
 - ・経営層・現場間での意見交換
- 計画作成、目標の明確化
 - ・プロジェクトリーダー、委員会の設置
 - ・問題に対する解決方法の模索
 - ・職員への研修、業務フローの見直し
 - ・具体的な数値目標の設定
 - ・段階的な計画作成

●従来のやり方との共存

- 「すべてデジタル化すれば良い」わけでは無い
 - ・手段と目的の取り違えに注意
 - ・ベテラン職員の経験則も大事
 - ・アナログな方法が良い時も
 - ・機器に慣れない職員もいる
- 最適な方法は現場によって異なる
 - ・従来の介護現場でのやり方をベースに、
 - ・各現場で試行・職員間での対話を繰り返しながら
 - ・ロボット・ICTを用いた方がよい部分を発見し、徐々に取り入れていく

お知らせ

◆県ホームページ

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chofuku/shisetsu/kaigorobottodounyuusiennzigyou.html>

◆介護分野における生産性向上ポータルサイト（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/kaigoseisansei/index.html>

